

『モバイル市場の競争環境に関する研究会』

- ご説明資料 -

2019年9月11日
ソフトバンク株式会社

1. 5Gサービスに関する当社取り組み

- ① ロードマップ
- ② 直近の取り組み
- ③ 将来の取り組み

2. eSIMに関する当社取り組み

1. 5Gサービスに関する当社取り組み

- ① **ロードマップ**
- ② 直近の取り組み
- ③ 将来の取り組み

2. eSIMに関する当社取り組み

超高速・大容量

eMBB
10Gbps超え

4Gの
10倍

超低遅延

URLLC
1ms

4Gの
1/10

多数同時接続

mMTC
100万台/km²

4Gの
10倍

2020年の本格運用に向けた取り組みを開始

SoftBank 5G

12月予定
商用ネットワーク運用開始

3月予定
5G商用サービス開始（超高速・大容量）



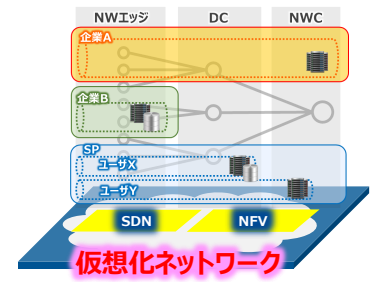
7月～ 5Gプレサービス



低遅延サービス等



スライシング等



MVNOへの5Gネットワークの提供は
5G商用サービス開始と同時期を予定（詳細後述）

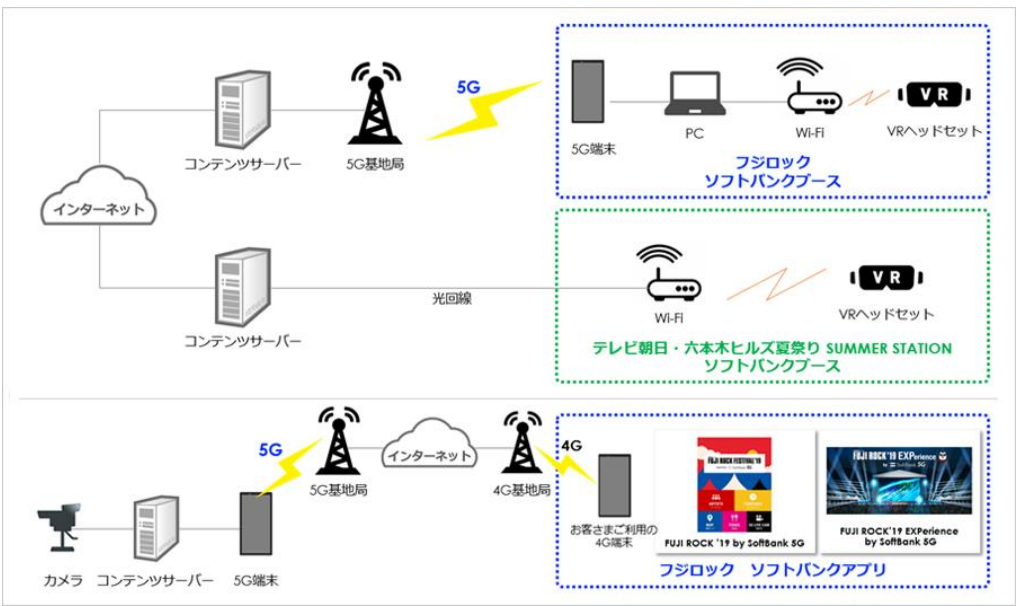
1. 5Gサービスに関する当社取り組み

- ① ロードマップ
- ② 直近の取り組み
- ③ 将来の取り組み

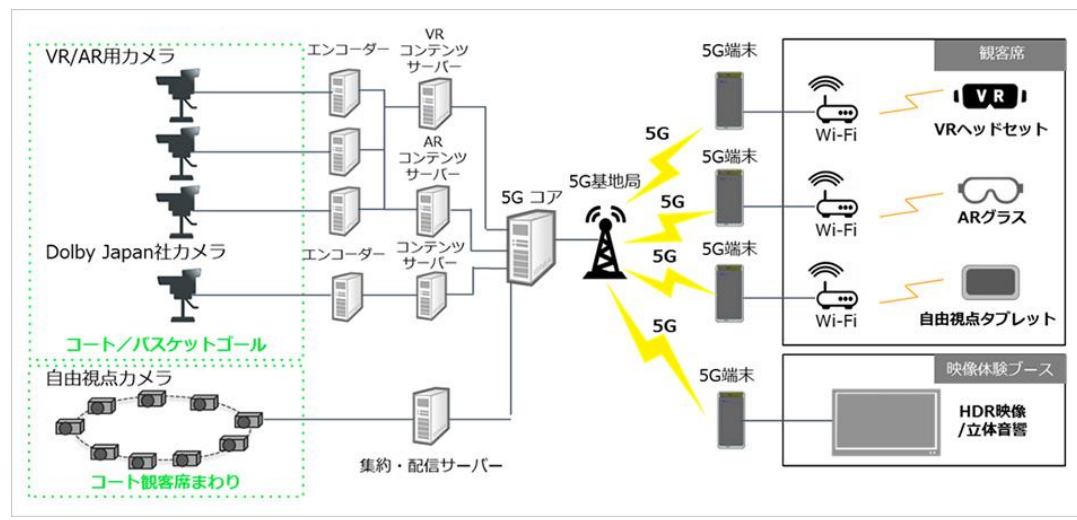
2. eSIMに関する当社取り組み

当社の取り組み①（音楽フェスでの5Gプレサービス）

YouTubeでライブ配信される映像を、5Gネットワークを通してVRヘッドセットで視聴

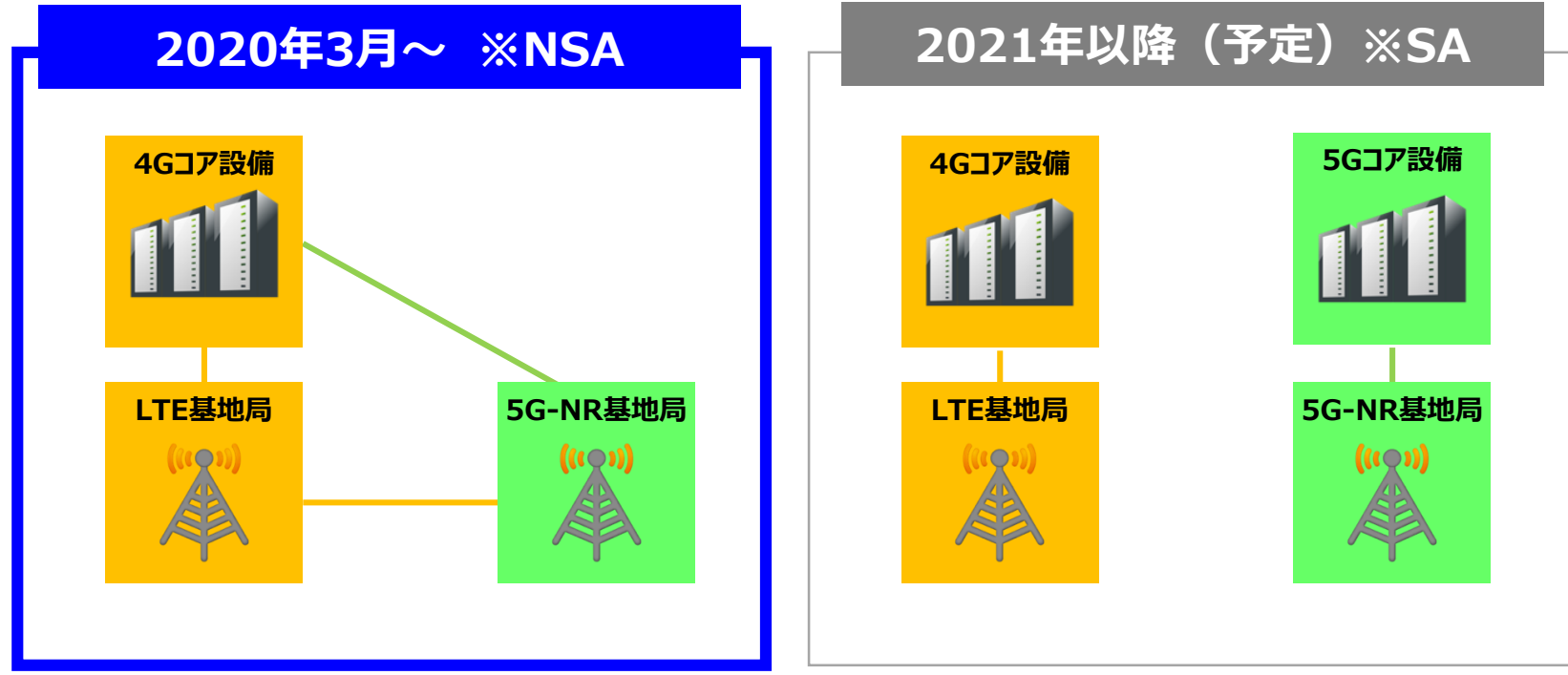


5Gを活用したVR/AR観戦や自由視点視聴など 未来のスポーツ観戦体験を提供



5Gサービス開始当初は、4Gコアネットワークをベースに提供

※NSA (Non-standalone) 構成



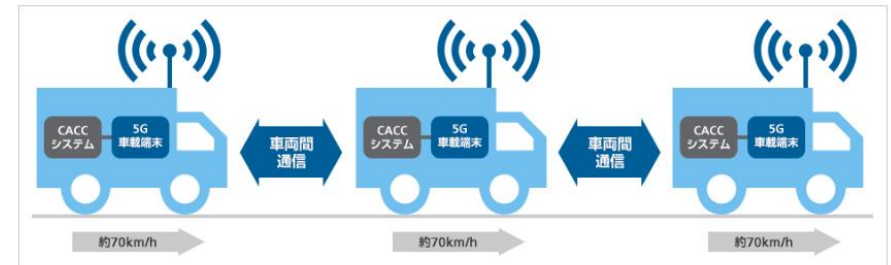
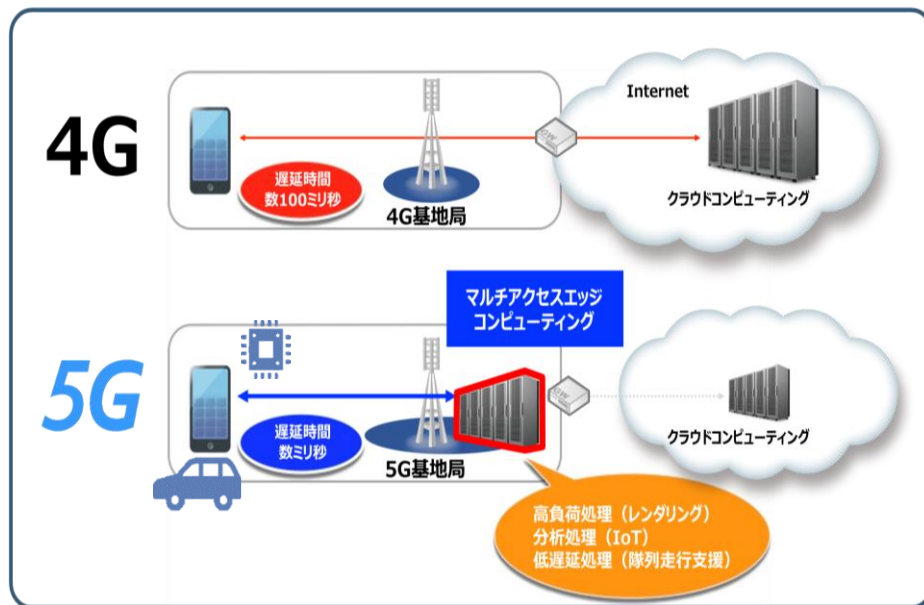
MVNO向け接続料は、**従来の帯域単位**での提供見込み
(※詳細は検討中)

1. 5Gサービスに関する当社取り組み

- ① ロードマップ
- ② 直近の取り組み
- ③ **将来の取り組み**

2. eSIMに関する当社取り組み

5Gの高信頼・低遅延という特長を活かし 高速道路を隊列走行するトラック車両間で制御情報を共有 (車間距離自動制御を実施)



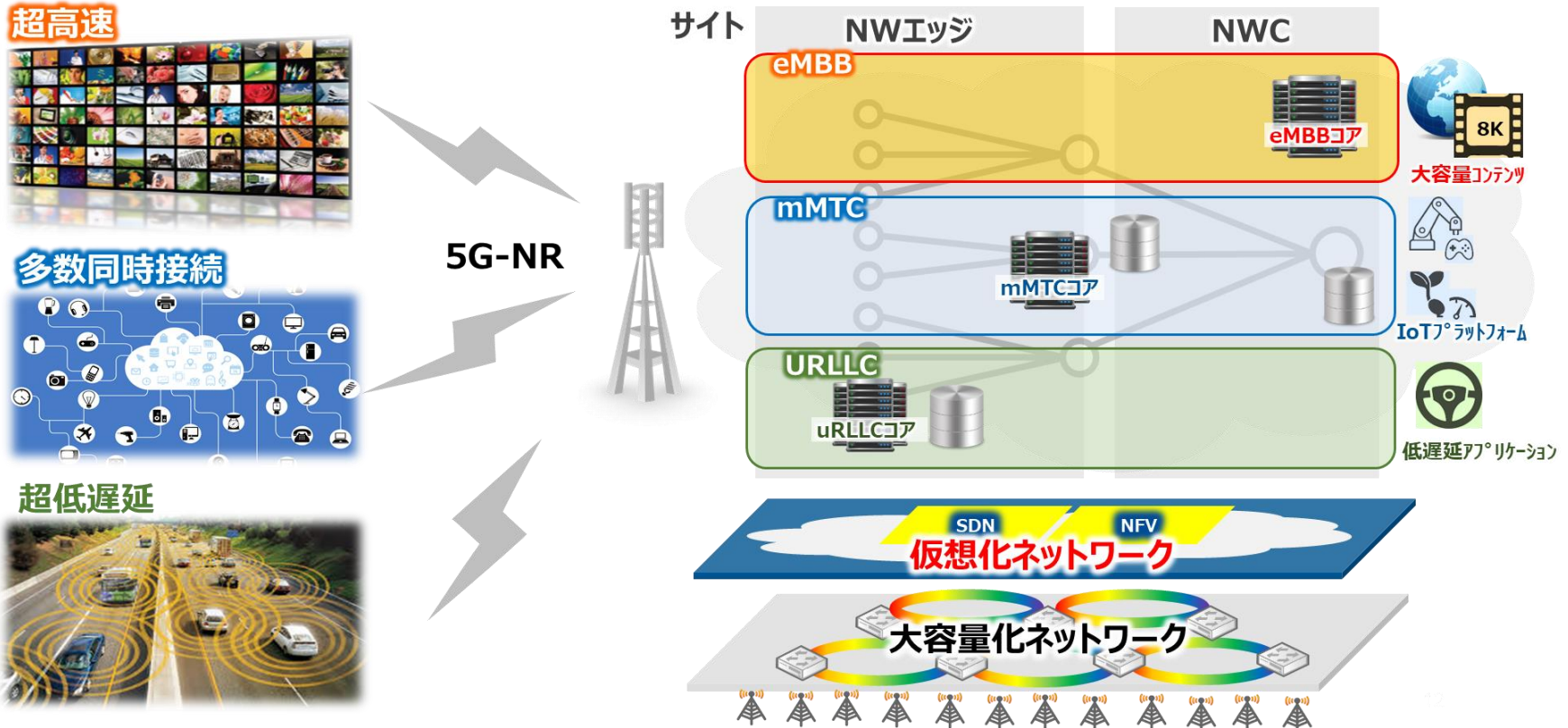
実験の構成



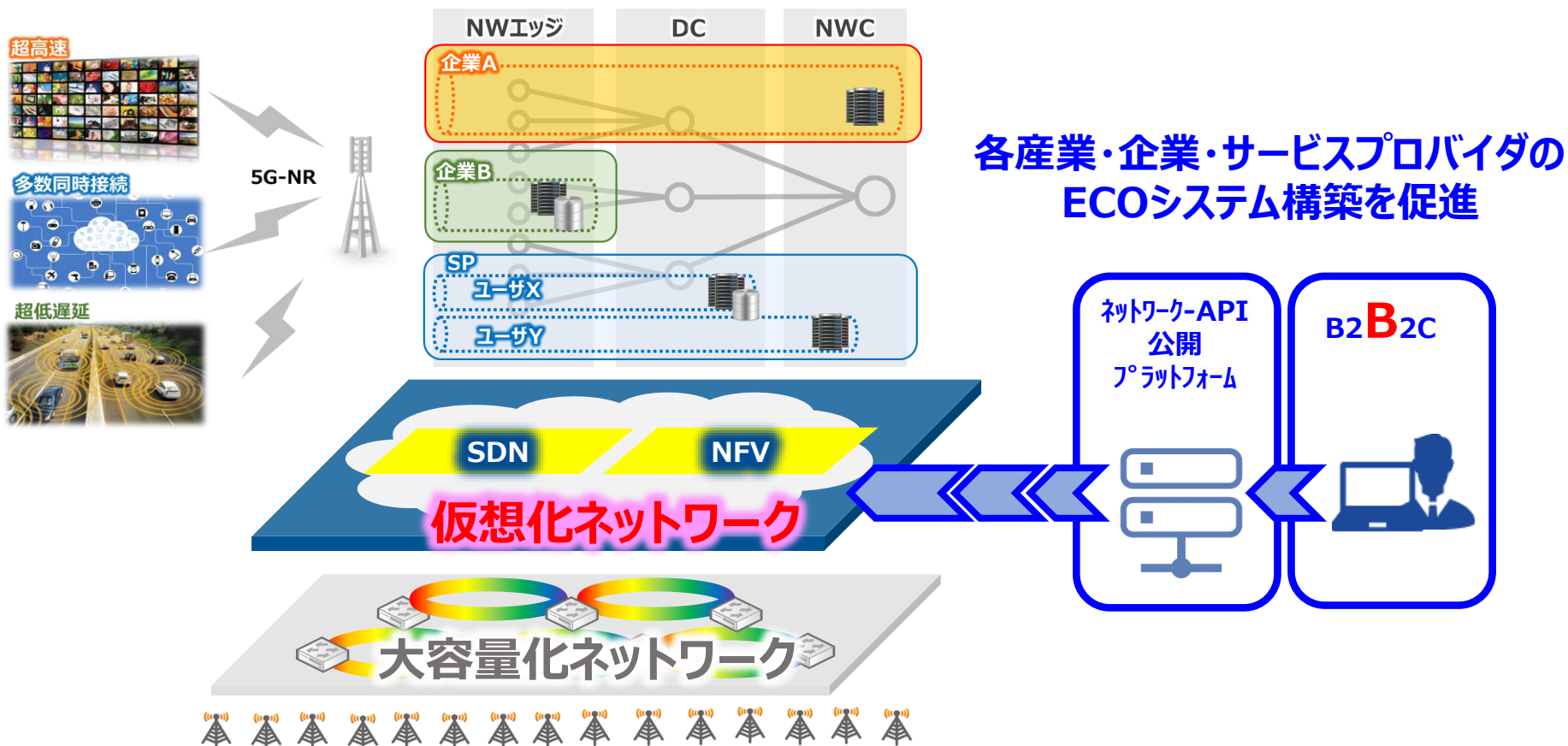
実験の様子 (静岡県内)

仮想化ネットワークとスライシング

仮想化・スライシング技術により、MNOのネットワーク提供形態は多様化
 一つのネットワークで多様な品質のサービス提供が実現可能に

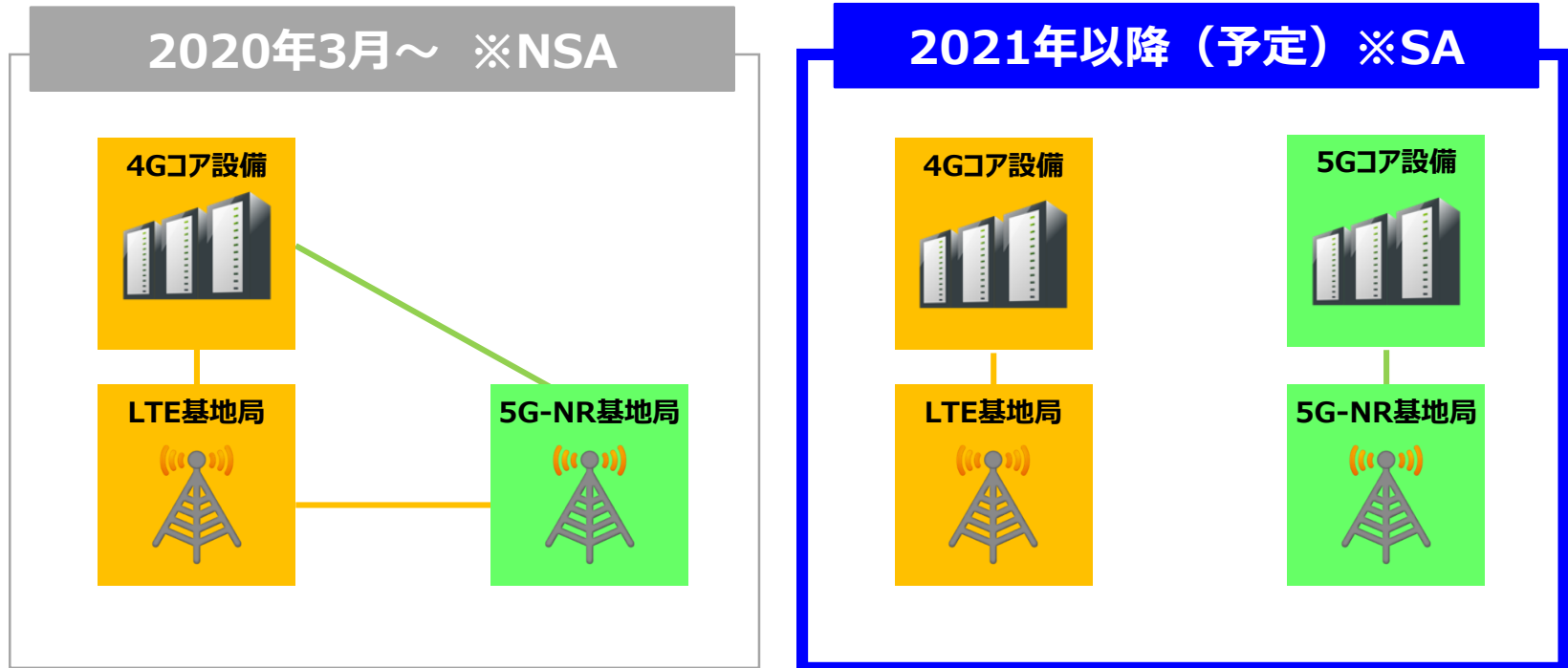


ネットワークのプラットフォーム化が進展し、
サービス要件に応じユーザがネットワーク-APIをコントロールする形態に



5G専用のコアネットワークにより、 スライシングサービス等、提供形態が多様化

※SA (standalone) 構成



既存のアンバンドル機能や帯域課金等の考え方は**実態にそぐわなくなる可能性**

- ① **多様なビジネスモデルを創出可能とする柔軟な制度、**
- ② **複雑化を回避するため標準的な接続構成の整理を要望**

1. 5Gサービスに関する当社取り組み

- ① ロードマップ
- ② 直近の取り組み
- ③ 将来の取り組み

2. eSIMに関する当社取り組み

現状、リモートSIMプロビジョニングを用いたサービスは未対応※
今後当社における提供が実現した場合、MVNOの要望に応じて協議

※ごく一部のスマートWatch等のみ対応

未対応

